

MANTIE DIAOCHA BAOGAO

遼寧省檔案館 編

滿鐵調查報告

第四輯

4

GUANGXI NORMAL UNIVERSITY PRESS
廣西師範大學出版社



滿鐵調查報告

MANTIE DIAOCHA BAOGAO

第四輯

4

遼寧省檔案館 編

GUANGXI NORMAL UNIVERSITY PRESS
廣西師範大學出版社

· 桂林 ·



資料第二十四編 關於滿蒙牛輸出日本的調查

滿鐵臨時經濟調查委員會 一九三〇年二月 1

經濟資料第十三卷第七號 日本需求滿洲物產的趨勢

滿鐵東亞經濟調查局 一九二七年七月 353



資料第二十四編

關於滿蒙牛輸出日本的調查

資料第二十四編

滿蒙牛日本輸出に關する調査

南滿洲鐵道株式會社

臨時經濟調查委員會

臨時經濟調查委員會刊行資料目錄

- | | | | |
|-------|------------------------------|--------|----------------------------------|
| 第一編 | 滿蒙に於ける荷馬車 | 第十三編 | 吉林省に於ける土地整理に關する法律 |
| 第二編 | 滿鐵各箇所使役華工調査(其二) | 第十四編 | 日本内地に於ける家畜飼料の需給 |
| 祕第二編 | 同 | 第十五編 | 滿洲に於ける鐵鋼需要調査 |
| 第三編 | 九龍鐵路
輸出報告 歐洲に於ける滿洲大豆工業の現況 | 第十六編 | 支那毛皮 |
| 第四編 | 滿洲大豆品質等級に關する調査 | 祕第十七編 | 松花江の水運 |
| 第五編 | 經濟上より觀たる滿蒙の道路 | 第十八編 | 太子河の流勢と洪水記錄 |
| 祕第六編 | 吉林省森林伐採に關する法律關係 | 祕第十九編 | 沙河口水場に於ける日華兩工の能力比較 |
| 祕第七編 | 哈爾濱、敦化間鐵道豫定踏査報告 | 第二十編 | 本邦及朝鮮に於ける無煙炭の需給並滿洲産無煙炭
に關する調査 |
| 第八編 | 大連支店後援の貿易關係を有する各港港務諸掛便覽 | 第二十一編 | 滿蒙に於ける燃料需要調査報告 |
| 第九編 | 在滿法人現狀調査要覽 | 第二十二編 | 高粱稗蒐集調査報告 |
| 第十編 | 吉敦沿線水田候補地調査報告 | 祕第二十三編 | 滿洲に於ける外商の勢力 |
| 第十一編 | 帝國植民地課税一覽 | 第二十四編 | 滿蒙牛日本輸出に關する調査 |
| 祕第十二編 | 滿鮮國境橫斷鐵道と終端港 | | |

前　　言

畜産資源は人口食糧問題に重要な關係を有するに鑑み我國に於ける朝野の識者は之が増殖に付腐心研究する所なるが帝國の山野自ら制限あるを以て滿蒙に於ける資源を利用し之に對應するは日華共存の見地よりするも亦機宜の措置なるを以て當會に於ては先づ牛肉に就て之が調査に著手し其の方策樹立に就ての參考資料を蒐集したるが閱讀の便を計り印刷に付すこととせり。

昭和五年一月

臨時經濟調查委員會第二部幹事

五　　十　　嵐　　保　　司

凡 例

一、本調査は滿蒙牛日本輸出取引事業に對する參考資料として調査せるものなり。

一、本調査は昭和二年十二月之を開始し昭和三年八月之を終る、但し第三章第三節冷藏船に關する調査は昭和四年八月調査報告に依る。

一、本調査は主として南滿に於ける滿蒙牛集散市場を基礎として之が日本輸出取引に關する調査を爲したるものなり。

一、滿蒙牛日本輸出に關し青島に於ける山東牛日本輸出は最も密接なる關係にあるを以て之が比較研究の目的を以て其の現況を調査し本書第十二章に於て之を詳述せり。

一、朝鮮牛の日本移出も日本に於ける農業上及食糧問題上重要な地位にあると共に滿蒙牛輸出取引に對し重大關係にあるを以て其の現況を調査し本書第十三章に之を詳述せり。

一、本編編纂上特に公主嶺農事試驗場畜産科坪井清氏より多大の資料提供を受く、記して深甚の謝意を表す。

一、本調査には左記各箇所的好意に依り資料の提供を受けたり。

茲に謝意を表す

社外 關東廳殖産課、同警務局衛生課、關東州内各民政署、同支署、大連、旅順各市役所、關東州内各會事務所、青島獸疫調査所、朝鮮總督府殖産局、朝鮮各移出牛檢疫所

社內 興業部商工課、同農務課、公主嶺農事試驗場、公主嶺農業學校、沿線各公所

一、本調查擔當者

伊 藤 熾、植 木 剛

昭和四年十二月

臨時經濟調查委員會

滿蒙牛日本輸出に關する調査

目次

第一章 總 說	一
第二章 日本に於ける牛肉需給の情況	四
第一節 日本に於ける畜牛總頭數及生産、斃死並に消費狀態	五
第二節 日本に於ける肉牛輸入情況	九
一 青 島	一〇
二 朝 鮮	一一
三 濠洲、加奈陀	一一
四 大 連	一二
五 天 津	一三
六 其 他	一三
第三節 日本に於ける牛肉消費率と列國消費率との比較	一五
第三章 滿蒙牛の現勢	一七

目次

二

第一節 滿蒙に於ける畜牛の現在頭數	一七
第二節 生産及斃死	一八
一 蒙古内に於ける生産及斃死	一八
二 滿洲内に於ける生産及斃死	一九
第三節 輸出可能頭數	二〇
第四章 滿蒙牛	二四
第一節 蒙古牛	二四
第二節 滿洲牛	二六
第三節 滿蒙に於ける畜牛の飼養狀態	二八
一 蒙古に於ける飼養管理	二九
イ 遊牧地帯	二九
ロ 農牧混同地帯	三一
ハ 農業地帯	三一
二 滿洲に於ける飼養管理	三三
第五章 滿蒙牛の輸出並に市場集散の概況	三五

第一節 輸出並に屠殺狀況	三五
--------------	----

第二節 市場集散概況	三九
------------	----

一 南部市場	四〇
--------	----

二 中部市場	四二
--------	----

三 北部市場	四四
--------	----

第三節 關東州畜産概況	四六
-------------	----

一 一般概況	四六
--------	----

二 家畜市場及出廻狀況	五三
-------------	----

イ 旅順管内	五九
--------	----

ロ 大連管内	六一
--------	----

ハ 金州管内	六二
--------	----

ニ 普蘭店管内	六九
---------	----

ホ 貔子窩管内	七五
---------	----

第六章 大連に於ける滿蒙牛輸出の趨勢	八一
--------------------	----

第一節 概括的趨勢	八一
-----------	----

第二節 現在滿蒙牛輸出業者	八四
---------------	----

目次

四

一 滿蒙牛直輸出業者……………八五

二 輸出滿蒙牛肉取扱業者……………八五

第七章 滿蒙牛買付及輸出に關する採算……………八七

第一節 賣買價格……………八七

第二節 趕出諸掛……………九二

第三節 輸出牛の買付……………九五

第四節 輸出に關する採算……………九七

第五節 最近に於ける副生物の取引狀況……………一〇五

一 大連に於ける副生物相場……………一〇六

二 長春に於ける副生物相場……………一〇七

三 奉天に於ける副生物相場……………一〇八

第八章 肥 臘……………一一〇

第一節 現 況……………一一二

一 奉 天……………一一五

二 長 春……………一一六

三 鄭家屯	一二七
四 白音太來	一二八
五 洮南	一二八
六 新民屯	一二九
七 遼陽	一二九
八 鐵嶺	一二〇
第二節 飼養並に飼料	一二〇
第三節 肥廬上に於ける採算	一二四
第四節 南滿に於ける肥廬の將來	一二九
第九章 南滿に於ける日本側屠場の概況	一三七
第一節 各屠場の概況	一三七
一 大連屠場	一三八
二 旅順屠場	一四一
三 柳樹屯屠場	一四五
四 水師營屠場	一四七
五 金州屠場	一五〇

目次

六

六	三十里堡屠場	一五二
七	普蘭店屠場	一五五
八	貔子窩屠場	一五七
九	瓦房店屠畜場	一五九
一〇	熊岳城屠畜場	一六二
一一	松樹屠畜場	一六四
一二	營口屠畜場	一六六
一三	海城屠畜場	一六九
一四	南臺屠畜場	一七〇
一五	鞍山屠場	一七一
一六	遼陽屠畜場	一七三
一七	奉天屠畜場	一七六
一八	鐵嶺屠場	一七九
一九	開原屠場	一八一
二〇	昌圖屠獸場	一八四
二一	雙廟子屠場	一八五
二二	四平街屠場	一八七

二三	郭家店屠獸場	一八九
二四	公主嶺屠畜場	一九〇
二五	范家屯屠獸場	一九三
二六	長春屠畜場	一九四
二七	撫順屠畜場	一九七
二八	本溪湖屠畜場	二〇〇
二九	安東屠獸場	二〇一
第二節	屠場並屠肉取扱の改善	二〇四
一	屠室に煖房裝置を要す	二〇五
二	屠夫の改善	二〇五
三	運搬車の改善	二〇六
四	屠室内部の施設改善	二〇六
五	屠殺方法の改善	二〇六
六	體重秤器の備付	二〇七
第十章	冷蔵庫	二〇九
第一節	大連に於ける冷蔵庫及其の營業狀態	二〇九